【参考資料 5】

指定管理者主要事業概要

【令和 6 年度事業実績】

■取扱高

- 単価:青果物、水産物とも価格高、昨対比 33 円、7.8%アップの 460 円の高値
- 数量:206,401トン、昨対比 97.2 %
 - ピーク時(S63 年、408,904トン)の 50.5%
 - ワースト記録
- 金額:949 億 5,327 万円、昨対比 104.7%
 - 3 年連続して前年を上回り、前期に引き続き 900 億円台を達成
 - ピーク時(H3 年度、178,536 百万円)の 53.2%

■経営成績

- 営業利益:29,591,732 円→昨対比 24,648,959 円増(598.7%)
- 当期純利益:18,918,347 円→昨対比 8,512,183 円増(181.8%)→14 期連続の黒字決算
- 利益剰余金:127,536,448 円→財政基盤は健全、安定

■府納付金

- 協定書どおり遅滞なく全額納付
 - 納付金 I (5 年間定額):682,000 千円
 - 納付金 II (提案額を上回った利用料金等収入の 1/2、変動制):3,735,925 円

■収入の確保

- 空きスペースの有効活用、事務所等の使用許可基準の緩和→新規参入者の促進
- 不法占有の排除→有料区画への誘導等
- 直接集荷の適正申告の指導強化→売上高割利用料金の徴収漏れの防止
- プラスチック製廃棄パレット、鉄くず・ダンボール等を有価物として売却:11,576 千円
- 利用料金等の債権管理の徹底→滞納ゼロ

■経費の節減

- 一般管理費の節減
- 常態化していた不法投棄を抑止(97.4%削減)
 - 「ゴミ捨て場」の汚名返上と廃棄物処理費用の削減
- 特に悪質な事案は警察へ通報
 - 2 事案(2 人)立件、1 事案(1 人)入場禁止(1W)
- 魚あら処理費用のゼロ円の維持:▲18,000 千円/年
- 廃棄物削減効果
 - 排出量
 - ・対大阪府直営時:▲9,199 トン(▲69.5%)
 - ・対前年度:▲364 トン(▲8.2%)
 - 処理費用
 - ・対大阪府直営時:▲65,599 千円(▲60.7%)
 - ・対前年度:▲1,883 千円(▲4.2%)

□電気料金の抑制

- 基本電力需給契約の見直し(3,400KWH→2,600KWH):▲1,060万円(▲17.7%)
- 「電力最終保障供給」への移行回避→他市場に比較して低水準の価格
- ガスセントラル空調を電気個別空調に転換(H26～):▲1,215万円/年(皆減)

■果実は市場へ還元

- 事業改革により2,057千円の新たな資金を捻出
→市場活性化事業、修繕事業に投資、還元:6億979万円(H25～R6年度)

■市場活性化対策

- 競争力のある市場を目指し、市場関係者と一体となり市場活性化に繋がる施策をハード・ソフト面で積極的に推進
- 水産せり場(まぐろ売場)の床面改修工事
- 既存照明(ハイポール灯)のLED化の促進
- 改修済みトイレ(88か所)の清掃の充実(元日を除く毎日2回)
- 社会見学に加え、消費者団体等の一般見学会も開催:24団体、1,156人
- 禁煙対策の強化
→禁煙指導員(50名)による場内ラウンド
→違反者に対する通告書、警告書、入場禁止
- 管理棟1階展示ロビーの展示物のリアルタイムの更新
- 卸、仲卸及び事業連携大学との連携による学生による産地勉強会の開催
- 大学での産地による食育講座を開催
- 百貨店、小売店での旬の食材をテーマにした産地フェアの開催
- 活性化事業費:41,272千円 ※提案額(40,000千円)

■利用料金制度の活用

- 売上高割利用料金の減額(3.0/1000→2.5/1000)→競争力の強化

■施設管理業務

- 市場施設の指定・許可→1,692件
- アウトソーシング
経済性・専門性・品質等において、より優れた成果が期待できる業務に関し府の事前承認を得てアウトソーシング
→41事業、408,291,235円(昨対2,777,053円増、100.7%)
※提案額:420,000千円
- 鳥獣害等防止対策
 - ハトの糞対策
→新たに水産大通り、水産仲卸棟2階廻りにネットを整備
 - カラスの駆除
→茨木市の許可を得て捕獲 ※1,216羽(昨対146羽増、113.6%)
- 施設の稼働率向上
 - 仲卸店舗:97.7%(目標値:96.0%→達成率:101.8%)
 - 仲卸事務所:77.5%(目標値:78.0%→達成率:99.4%)

■保守点検業務

- 計画的に保守点検を実施し、不具合が確認されれば、即刻修理
- エレベータの緊急停止事案については24時間体制で対応

■危機管理

- 新たに制定した「危機管理マニュアル」に基づき体制の充実、強化
- 消防・防災訓練の実施
- 民間企業との連携
- 非常食品、資器材の備蓄拡充
- 災害用マンホールの整備(4基)
- 資格者の配置
 - 防火管理者:3名
 - 防災管理者:3名
 - 自衛消防業務講習受講者(統括管理者):4名
 - 消防庁応急手当資格者:1名

■維持補修事業

- 現場のニーズを把握し、民間ならではの機動性を発揮し、スピーディに執行
- 維持補修事業費:176件、60,785千円 ※提案額(60,000千円)

■大阪府依頼工事

大阪府が施工するより当社で施工する方が事業費、品質、工期等において一層の効果・効率性が期待できる事業について大阪府に代行して発注、施工

※ 施工実績

- ・R6年度 : 1事業、109,340千円(税込)※落札率89.7%
- ・累計(H26-R6年度) : 27事業、1,102,897千円(税込)

■CSR活動

- こども食堂への支援
 - 地元茨木市ほか4か所のこども食堂に対して食材の提供等必要な協力と支援
 - ※実施回数:16回
- 障がい者の就労支援
 - 知的、精神障がい者の就労支援としての清掃訓練の場の提供
 - ※就労に繋がった訓練生:1名、延べ44名
- 食品ロス削減の取り組み
 - 管理棟内にフードドライブコーナーを常設し、食料品等を関係団体へ適宜提供
 - ※提供物品:約600点、82キログラム(賞味期限2か月以上)
 - 未利用魚の消費拡大
 - 産地、卸業者、連携大学と連携し、産地での学習、意見交換会を開催
 - 学生目線で未利用魚のレシピ作成
 - 学校給食における利用を協議中

■大阪府施策との整合性の確保

- 障がい者の就労支援
- あいりん地区日雇労働者の清掃事業の受け入れ
- 環境問題への取り組み
- 大阪府主催イベント(健康づくりアワード等)への協力

■サービスの向上

- 市場関係者の要望に応え、管理棟前の駐車場においてキッチンカーを誘致し、PR チラシを作成、配布するなど販売の支援 ※出店回数:50 回
- 全面的に改修した青果休憩室において、市内授産施設によるカレー、クッキー等の販売支援 ※出店回数:24 回

■社員研修の充実

- 「労務管理」「経理研修」等様々な分野における外部研修に積極的に参加
※12 回出席、延べ 12 人参加(2.0 回/人)

■コンプライアンス

- 全社員が社会を構成する一員として社会的ルールを守り、判断、行動するよう内部統制の強化

■企業・個人情報の保護

- 幹部社員を個人情報保護責任者として任命
- 卸業者・仲卸業者等の企業秘密について適切に管理
- 受注者が個人情報の適正な管理に努めるよう契約条項に盛り込む

■情報公開体制

- 管理運営業務に関して「府政情報センター開架資料」として、事務所内に整備
- 各種統計データや主要行事等をホームページにリアルタイムにアップ

■人権問題に対する取り組み

- 人権問題を企業の重要な社会的責任として人権問題への取り組みの強化
- 社員を各種研修会へ参加させるなど人権問題に対する社員の意識啓発
※人権研修参加実績:10 回出席、延べ 10 人参加(1.3 回/人)
- 厚生労働省等が主唱する「公正採用選考人権啓発推進員」を任命
- 各種人権推進団体とのコラボによる諸活動(キャンペーン等) 街頭
- 受注者が人権啓発に係る研修を契約条項に盛り込むよう指導

■モニタリングの評価結果

	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
レ ベ ル	S	1	2	2	5	5	5	6	9	10	11	5	8	10
	A	9	9	9	6	6	6	5	2	1	0	6	3	1
	B	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■市場の再整備に向けての検討

- 再整備手法や再整備後の市場運営のあり方について内外の関係者と広く意見交換
- 再整備基本計画案が継続審議となったことを踏まえ、場内事業者で構成される「今後の市場あり方検討会」に参画し、実効性のある再整備計画となるよう協議
- 卸会社 4 社のトップで構成される「卸 4 社会議」を開催(R7.3.22)
→「中間報告」(R6.3)に関する課題・問題点を引き続き精査しつつ再整備を進める

【令和7年度事業計画】

■基本方針

- 企業価値を高めるSDGsの観点や市場関係者のニーズも十分に踏まえ一層の創意工夫を凝らしたスピーディで効率的・効果的な管理運営
- 安定した市場運営が持続できるよう利用料金等の収入の確保と徹底した経費の削減など財政基盤の一層の強化
- 「大阪府中央卸売市場指定管理者評価委員会」、「大阪府中央卸売市場運営取引業務協議会」、「大阪府中央卸売市場活性化協議会」から寄せられた指摘・提言の具体化

■市場活性化対策

- 集荷力と販売力を高め、競争力のある魅力溢れた市場づくりを目指し、府市場ならではの特色ある活性化事業を推進
- 財政状況や市場関係者のニーズ等必要性を見極めつつ事業の拡充など柔軟に運用
- 事業費:4千200万円 ※提案額:4千万円

■安全・安心・清潔な市場づくり

- 前期に引き続き、残された水産せり場床面改修工事を実施
- 開場以来手付かずであった青果卸売場一帯の天井の全面的な清掃

■市場サインの新設

- 4か所に設置した自立サインに加え、新たに管理棟北側の壁面にサインを整備

■災害に強い市場づくり

- 災害時にも電力供給が一定可能になる燃料電池の持続的な維持
- 消防防災訓練を実施するとともに、民間企業とのコラボによる防災訓練を開催
- 災害等不測の事態において、市場機能を維持するため必要な緊急対応資材の備蓄の充実
- 管理棟裏のスペースを活用し、防災備蓄倉庫を整備
- 災害用マンホールトイレのPRや使用方法の習熟

■情報発信の強化

- 当社の事業内容、市場の存在意義等を内外のステークホルダーに対して発信
- 当社ホームページを全面改修するとともに、情報をリアルタイムに更新し、情報発信を強化
- ドローンを用いて市場全景を俯瞰できる航空写真を撮影、製作

■維持補修工事

- 比較的小規模の緊急修繕が発生した時には、社員が直ちに現場に急行し、自ら修繕工事を行う一方、専門的な機材・技術を必要とする場合には専門業者に修繕の手配を行うなど常にスピーディに対応
- ライフラインとしての電気・水道・ガス等の供給施設や冷蔵庫関連設備の緊急を要する修繕工事は最優先に工事を実施し、万全を期する。
- 施設の老朽化の顕在化に対応し、事故を未然に防止するため必要な修繕を行う。
- 財政状況、施設設備の劣化状況及び市場関係者のニーズ等を見極めながら、事業の拡充等柔軟に執行
- 事業費:6千200万円 ※提案額(6千万円)

■大阪府依頼事業

□水産 B 棟低圧共用幹線設備改修工事:91,025 千円(府予算額)

■委託業務

□経済性・専門性等において委託するほうが有利であり、より優れた成果が期待できる業務について開設者の事前承認を得てアウトソーシング

□事業費:418,120 千円 ※提案額(420,000 千円)

■空き施設の解消

□目標稼働率

○仲卸店舗:96.0%

○仲卸事務所:78.0%

■禁煙対策の徹底

□日々の巡回に加え防犯カメラも活用しながら、ルール違反の違反喫煙に対して一層効果的な指導・啓発

□悪質な違反者には入場禁止の行政処分を科するなど厳正な法的措置

■市場再整備

引き続き場内に設置された「あり方検討会」に参画しながら、実効性のある再整備計画となるよう必要な提言を行うとともに、業界全体としてのコンセンサスが得られるよう努める

■CSR 活動の推進

□SDGs の目標達成に向けフードロスの削減、子ども食堂への支援など幅広い事業を推進

□人権問題を企業の重要な社会的責任の一つとしてとらえ、人を大切にし、人権を尊重する視点から各事業分野での取り組みを進め、もって企業価値を高める

■安定した財政基盤の確立

収益の確保と経費の節減を図ることにより、単年度黒字の維持に努め、財政の健全化と安定した財政基盤の確立を図る→概ね 900 万円の純利益を計上

■その他

事業の実施に当たっては、会社理念の実現と大阪府施策との整合性の確保